

日本音楽教育メディア学会
(JAPANESE MEDIA SOCIETY FOR MUSICAL EDUCATION)

JMSME News Letter

2018.7 vol.07 <夏号>

発行：平成30年7月15日

日本音楽教育メディア学会事務局

〒243-0213 厚木市飯山 2855-6 田村方

tamura@tanzawa.or.jp

(HP) <http://jmsme.jp/>

運営委員：komadamayumi@gmail.com

ご挨拶

会長 谷中優

猛暑お見舞い申し上げます。

また西日本各地の皆様には豪雨による甚大な被害、お見舞い申し上げます。

今日現在、死者150名以上、安否不明者50名を超える状況の由。現在懸命の捜索・復旧活動がなされています。早期の救助・復旧を祈念致すとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

さて旧学会の設立から通算25年目を迎える今年を記念に、別記のように来月、小規模ながら研修会を開くことになりました。また研修会に続く二つ目のイベントとして、音の環境をテーマにした「いい音見つけようコンクール」(仮題)の実施を進めております。追って詳細をお知らせいたします。

会員も緩やかではありますが年々増えており、今春発行の「音楽教育メディア研究」第4巻も、内容・ボリューム共充実してまいりました。今後も私ども、音・音楽に関わる様々な教科・領域を包含した教育の実践・研究を継続してまいります。つきましては皆様のご理解・ご協力を頂きまして、積極的なご参加をお待ちしております。

2018.7.10

第8回日本音楽教育メディア学会のお知らせ

日時 平成30年8月11日(祝) 10:30~17:15

会場 葛飾シンフォニーヒルズ 別館2階ビジュアルルーム(総会~研修1)、本館練習室1(研修2)

日程 10:30~11:30 総会

11:30~13:00 口頭発表

「上絵付けによる表現活動と子どもの発達について」

鎌田千佳(千葉敬愛短期大学)

「子どもの園生活と音楽の係わり」~ゆめのもり保育園における観察と考察~

鈴木由美子(千葉敬愛短期大学)

「鑑賞と表現の相互関係のための言語活動」~第6学年歌唱の活動における「響きある歌い方」について考える~飯泉正人(牛久市立向台小学校)

13:00~14:00 休憩

14:00~15:30 研修1 講演 「音楽教育と著作権」丸山亮氏

15:45~17:15 研修2 講座 「フォルマシオン・ミュージカル」(フランスの新しいソルフェージュ教育) 講師 高田美佐子氏

*非会員のご参加もお待ちしております。参加費：研究会 500円、研修(1&2) 2000円をいただきます。

懇親会 17:45~19:30 会費 3000円 会場 青砥駅付近にて

特別寄稿 「意図的に自然との関わりを」

新松戸幼稚園 寺田美子

本園の近くには、江戸川の支流があります。かつては魚釣りや川遊びをする子どもや、ホテルが飛ぶ光景が見られる清流でしたが、今は様変わりしています。「子どもが住む街をホテルが住めるような環境に戻したい」と願い、2002年に新松戸幼稚園自然生態園「エコパーク」「園庭ビオトープ」を開設しました。以来、一年を通して、ホテルを飼育し、6月にホテル観賞、ホテルが住める環境作りの取り組みを発信する行事「エコパーティー」を行っています。

「昔、ホテルが住んでいたんだって」ホテルや餌となるカワニナは清流にしか生きられないことを知り、川に捨てられている自転車や大きなゴミに気づき、心配する園児らの姿がありました。そこで、教職員が市の方と一緒に、ボートを出し、川のゴミを引き上げました。更にホテルの幼虫が生育するためには、せせらぎが必要です。そこで、その水源確保のために、園児・教職員・保護者・近隣の住民たちが協力して、千葉県伝統的な工法(金具を使用せず、竹のしなる力を利用して掘る工法)である「上総掘り」で井戸を掘りました。

子どもたちは、身近な環境に目を向け、心を寄せて、花、虫、風、光、音など、様々な自然を見つけ、関わっています。感じ、考え、工夫する姿があります。柔らかい子どもの心や目、感性から私たち大人が影響を受けることが沢山あります。

これらを伝えることが「幼稚園がしなければならぬ」子育て「の」支援なのではないでしょうか。

連載「こどものうた」

「子守歌」－江戸の子守歌－

飯泉祐美子

ねんねんころりよおころりよ
坊やはよい子だねんねしな
ねんねんの子守はどこへ行った
あの山こえて里へ行った
里の土産おみやに何もろった
でんでん太鼓に笙の笛

さあ寝よう！さあ寝よう！
坊やはよい子だね！寝よう！
子守りのお姉さんはどこに
いったの？あの山の向こうのお
家に帰ったよ（ね）？
子守りのお姉さんからお土産
何もらいたいの？ でんでん太
鼓と笛をもらいたいの（ね）

現代風に解釈してみると、右枠のようになる。

一節目は、子どもが寝るように促しているものであり、この一節目だけの歌詞では母親でも子守り娘でもどちらも歌っているように思われる。二節目は、母親が歌ったものとほぼ特定できる。これは母親が子どもに対し語りかけ、その子どもはまだ言葉がほとんど出ないと思われるから、自答している歌、今の時代でいうと「つぶやき」と考えられる。この二節の母親の心情は、なかなか眠りにつかない子どもに困り「子守りの姉さんがどこへ行ったのか？」「早く帰ってきてほしい。」つまり「子守りされる子ども」よりも「子守り娘に、日頃子守りを任せている母親」の疲れた心のつぶやきだと思われる。三節目四節目も心情は二節に通ずるものがある。

いつの世も子育ては大変なこと。でもそれ以上に子どもは「愛おしく可愛い」みんなそう思っているはずなのに、、、。（帝京科学大学）

♪ 学会トピックス

- 8月11日第8回研究会は、研修会を開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

研修1 14:00～15:30 別館2階ビジュアルルーム

講演「音楽教育と著作権」 丸山 亮氏（元特許庁審査官、審判官）

研修2 15:45～17:15 本館練習室① 講座「フォルマシオン・ミュージカル」（フランスの新しいソルフェージュ）

高田美佐子氏（尚美学園大学講師）

- 「すてきな音コンクール」（仮題）・・・好きな音、すてきだなどと思う音を募集します。

詳細は後日お知らせします。

《新会員メッセージ》

ずーっと弾くってどんなこと？

武蔵野音楽大学 玉川大学・森永美穂子

子どもの頃に、母の手ほどきでピアノを始め、幼稚園に入ると先生につき、小学校、中学校、高校と音楽教室に通い、大学、大学院、そして留学。ピアノを仕事としてかれこれ30年、ずーっとピアノを弾いています。当たり前のことですが、一日のほとんどをピアノの前に座って過ごしているのです。あの白黒の世界を前にして何を考えているのでしょうか？ 自問自答してみることになりました。

和声の微妙なニュアンスと旋律の美しさを感じ、「あーやっぱりショパンって天才。」分厚いヘンレ版のソナタを開いて、「やっぱりベートーヴェンって頑固で変わり者だったんだろうなあ。」所要40分のシューベルトのソナタを弾きながら、「なんでこんなに突然、調がどっかに行っちゃうんだろう。」「こんな和音書くなんでラフマニノフの手はどれだけ大きかったんだろう。」「あーやっぱりフォーレって不思議な人だわ。」「バッハの頭の中は、いったいどうなっていたのやら、..」

年齢と共に感じ方は変わってきました。以前よりずっと作曲家が近くなったのです。みんな人間なのに、作られた音楽は神様との対話みたい。神様が住んでいるのは天国だから、自分も天国に近づいたってこと？

まだまだもう少し頑張らないとならないので、学会に入ってより多くの先生方と研究の場を持ちながら、最後までずーっとピアノを弾いていけるよう、どうぞよろしくお願い致します。

《会員メッセージ》

兵庫教育大学 八代健志

勤めがかわりました。兵庫教育大学学校教育学部はこの4月赴任しました。大変自然に恵まれていて、周りはずべて野や山です。「勉強するのに最高」の環境です。学生たちも、良く学ぶ穏やかな若者たちが多く、学内に落ち着いた時が流れているような第一印象を持ちました。たぶん人生最後の職場。しっかり働こうと思っています。

さて、私は大学教員になってもう4年目になります。小学校教員を目指す、音楽を専攻していない（理科とか数学とか…他専攻の）学生たちに初等音楽科教育法を教えることも多いのですが、他専攻学生と話していて「自分は小学校へ就職しても、音楽科だけは教えたくない」旨の発言をよく聞きます。もちろん、雑談レベルの話です、いざ現場で音楽科を、となればそれなりにしっかり務めてくれるだろうとは思いますが。

上記について、彼ら自身の音楽授業時が楽しくなかったのかなとか、彼らにとって専門知識が難解で深すぎるのかと推察しています。小学校音楽科の意義や意味をしっかり伝えるのは当然ですが、若干の苦手意識を呼び込んだ音楽科授業を再生産しないような大学での初等法授業における工夫を考えていこうと思っている今日この頃です。

会員掲示板



柵を超えた Musik

”Kirin”： ein Lieblingsbier der deutschen Soldaten?

ドイツ兵は麒麟ビールが好き？

日時；2018年8月1日（水）2:00 p.m.開演（1:30 開場）

会場：習志野市民会館 Tel.047-476-3213

チケット代（習志野ソーセージつき）：

おとな 2300 円、こども 1000 円（小学 6 年生まで）

前売り おとな 2000 円、こども 1000 円

出演：林麻由美、鈴木佑未子 ほか

チケット申し込み・お問い合わせ：

町の音楽好きネットワーク事務局 090-3808-4163

クリックすると別ウィンドウで拡大されます

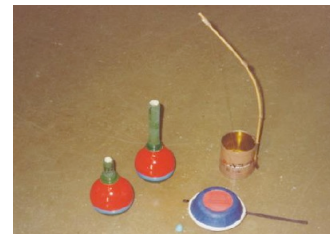
音・音楽フォーラム松戸《夏期こども講座 2018》

手作り楽器で音あそびしよう!!

日時：2018年8月21日（火）9:30～12:30

場所：松戸市民会館 303 音楽室 参加費：一人 500 円、参加者：5 歳児～小学 6 年生くらいまで

講師：谷中優 申し込み・問い合わせ：Tel.&Fax. 047-363-0386（鎌田）、047-343-8358（谷中）



会費納入のお願い

本年度(H30年8月1日～H31年7月31日)の年会費 7,000 円の納入を下記のいずれかの振込先にお願いたします。

《振込先①》 ゆうちよ銀行 10510-91267401
ニホンオンガクキョウイクメディアガッカイ

《振込先②》 みずほ銀行 亀有支店(店番178)
(普)1293675 日本音楽教育メディア学会会長 谷中優

※入会に際しまして、又、会費についてご質問等ございましたら事務局までご相談ください。

事務局だより

暑中御見舞い申し上げます。日本音楽教育メディア学会も 5 年目を迎えようとしております。皆様のより良い活動の場をご提供できますよう努めてまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。なお、8月11日の研究会は第5回総会開催のため、皆様のご出欠のお返事を 8月5日までに頂たく、どうぞよろしくお願い致します。

●連絡先、勤務先等の変更があった場合は事務局へご連絡をいただけますようお願い致します。

●平成 31 年 2 月発行の「音楽教育メディア研究第 5 巻」の執筆申し込み締め切りは 8 月 31 日です。

申込書を事務局へ請求後、提出して下さい。原稿の締め切りは 12 月末日とさせていただきます。